

4 交通事業

(1) 事業概要

ア バス事業の概要

職員数は 1,746 人で、前年度（1,829 人）に比べ▲83 人、▲4.5%減少している。在籍車両数は 1,119 両で、前年度（1,125 両）に比べ▲6 両、▲0.5%減少している。

営業路線は 700.5km で、前年度（696.1km）に比べ 4.4km、0.6%増加し、年間輸送人員は 163,891 千人で、前年度（170,454 千人）に比べ▲6,563 千人、▲3.9%減少した。また、年間走行距離は 39,320 千 km で、前年度（39,343 千 km）に比べ▲23 千 km、▲0.1%減少している。

イ 地下鉄事業の概要

職員数は 852 人で、前年度（915 人）に比べ▲63 人、▲6.9%減少している。

在籍車両数は 282 両で、前年度と同数になっている。

横浜市の地下鉄は、昭和 47 年 12 月に上大岡～伊勢佐木長者町間で開業して以来路線を拡大してきており、現在ではブルーラインとして、あざみ野～湘南台間（40.4km）を運行している。

また、平成 20 年 3 月には中山～日吉間（13.0km）でグリーンラインが開業し、平成 21 年度末現在の営業路線キロ数は 53.4km で、前年度と同数になっている。

年間輸送人員は 206,108 千人で、前年度（197,906 千人）に比べ 8,202 千人、4.1%増加している。また、年間走行距離は 33,029 千 km で、前年度（33,059 千 km）に比べ▲30 千 km、▲0.1%減少している。

川崎市の地下鉄事業は、新百合ヶ丘～武蔵小杉ルート of 計画で、事業許可を目指している。

交 通 事 業 の 概 要

項 目	バ ス 事 業									地 下 鉄 事 業								
	横 浜 市			川 崎 市			計			横 浜 市			川 崎 市			計		
	21	20	増 減	21	20	増 減	21	20	増 減	21	20	増 減	21	20	増 減	21	20	増 減
営業路線 (km)	500.7	497.1	3.6	199.8	199.0	0.8	700.5	696.1	4.4	53.4	53.4	0	0	0	0	53.4	53.4	0
年間輸送人員 (千人)	118,049	122,870	▲4,821	45,842	47,584	▲1,742	163,891	170,454	▲6,563	206,108	197,906	8,202	0	0	0	206,108	197,906	8,202
年間走行距離 (千km)	26,857	26,906	▲49	12,463	12,437	26	39,320	39,343	▲23	33,029	33,059	▲30	0	0	0	33,029	33,059	▲30
在籍車両数 (両)	790	801	▲11	329	324	5	1,119	1,125	▲6	282	282	0	0	0	0	282	282	0
職 員 数 (人)	1,187	1,248	▲61	559	581	▲22	1,746	1,829	▲83	838	902	▲64	14	13	1	852	915	▲63

(2) 経営状況

交通事業全体の経常損益は2億57百万円の黒字で、前年度（▲26億91百万円の赤字）に比べ、29億47百万円改善している。経常収支比率は100.4%で、前年度に比べ3.9ポイント上昇している。また、累積欠損金は2,452億3百万円で、前年度（2,452億68百万円）に比べ▲65百万円、▲0.0%減少し、不良債務は31億90百万円で、前年度（43億39百万円）に比べ▲11億50百万円、▲26.5%と大幅に減少している。

ア バス事業の経営状況

バス事業の経常収益は293億85百万円で、前年度（304億79百万円）に比べ▲10億95百万円、▲3.6%減少し、経常費用は292億61百万円で、前年度（307億53百万円）に比べ▲14億92百万円、▲4.9%減少している。

この結果、経常損益は1億24百万円の黒字となっている。また、累積欠損金は6億36百万円で、前年度（5億68百万円）に比べ68百万円、11.9%の大幅な増加となっている。経常収支比率は100.4%で、前年度（99.1%）に比べ▲1.3ポイント上昇している。

イ 地下鉄事業の経営状況

地下鉄事業の経常収益は435億34百万円で、前年度（438億31百万円）に比べ▲2億97百万円、▲0.7%減少し、経常費用は434億1百万円で、前年度（462億48百万円）に比べ▲28億47百万円、▲6.2%減少している。この結果、経常損益は1億33百万円の黒字で、前年度（▲24億17百万円の赤字）に比べ、25億50百万円改善している。

また、累積欠損金は2,445億68百万円で、前年度（2,447億円）に比べ▲1億33百万円、▲0.1%減少している。経常収支比率は100.3%で、前年度（94.8%）に比べ5.5ポイント上昇している。

(3) 料金収入と職員給与費

交通事業全体の料金収入は624億76百万円で、前年度（632億61百万円）に比べ▲7億84百万円、▲1.2%減少している。また、料金収入に対する職員給与費の割合は44.7%で、前年度（44.6%）に比べ0.1ポイント上昇している。

また、これを事業別にみると、バス事業は73.1%で、前年度（72.9%）に比べ0.2ポイント上昇しており、地下鉄事業は23.8%で、前年度（22.9%）に比べ0.9ポイント上昇している。

経常収支の状況

(単位:百万円, %)

項目	21			20			増減 (21-20)	増減率				
	うちバス	うち地下鉄		うちバス	うち地下鉄			うちバス	うち地下鉄	うちバス	うち地下鉄	
経常収益	72,919	29,385	43,534	74,310	30,479	43,831	▲1,391	▲1,095	▲297	▲1.9	▲3.6	▲0.7
営業収益	64,229	27,315	36,914	65,235	28,406	36,830	▲1,007	▲1,091	84	▲1.5	▲3.8	0.2
うち料金収入	62,476	26,525	35,951	63,261	27,507	35,754	▲784	▲982	198	▲1.2	▲3.6	0.6
経常費用	72,662	29,261	43,401	77,001	30,753	46,248	▲4,339	▲1,492	▲2,847	▲5.6	▲4.9	▲6.2
営業費用	59,825	29,045	30,781	62,486	30,502	31,984	▲2,661	▲1,457	▲1,204	▲4.3	▲4.8	▲3.8
うち職員給与費	27,933	19,390	8,543	28,228	20,055	8,173	▲295	▲665	370	▲1.0	▲3.3	4.5
減価償却費	19,464	2,615	16,849	20,463	2,408	18,055	▲999	207	▲1,206	▲4.9	8.6	▲6.7
支払利息	12,603	82	12,521	14,199	95	14,104	▲1,596	▲13	▲1,583	▲11.2	▲13.5	▲11.2
経常損益	257	124	133	▲2,691	▲274	▲2,417	2,947	398	2,550	-	-	-
経常利益	324	192	133	187	187	0	137	4	133	73.1	2.2	皆増
経常損失	68	68	0	2,878	461	2,417	▲2,810	▲393	▲2,417	▲97.6	▲85.3	皆減
累積欠損金	245,203	636	244,568	245,268	568	244,700	▲65	68	▲133	▲0.0	11.9	▲0.1
不良債務	3,190	0	3,190	4,339	0	4,339	▲1,150	0	▲1,150	▲26.5	-	▲26.5
経常収支比率	100.4	100.4	100.3	96.5	99.1	94.8	3.9	1.3	5.5	-	-	-
職員給与費/料金収入	44.7	73.1	23.8	44.6	72.9	22.9	0.1	0.2	0.9	-	-	-